



国 交 省  
NETIS (SK-070010-V)

「エレフット」は平成 30 年度国土交通省  
準推奨技術に選定されています。

## 簡易地盤支持力試験

# エレフット

### 平板載荷試験の小型版

平板載荷試験と強い正の相関性  
(相関係数 0.976) を確認  
床堀検査に必携

各種支持力試験結果比較表

試験方法	試験 No.1	試験 No.2	試験 No.3
平板載荷試験	300	255	400
簡易支持力試験	276(8.0)	257(0.8)	450(12.5)
キャスポル試験	247(17.7)	213(16.5)	446(11.5)
一軸圧縮試験	—	258(1.8)	318(20.5)

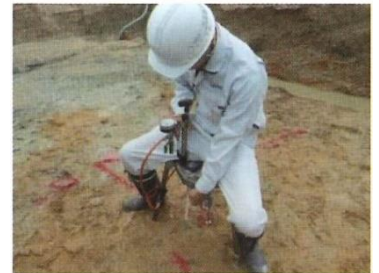
※単位は (kN/m<sup>2</sup>)、()内は平板載荷試験に対する誤差(%)

### エレフットの特長

- 試験時間が 1 箇所 30 分程度
- 小型軽量 (約 8kg、幅 67cm、高さ 49.8cm)
- 重機等の反力不要 (反力は調査員の体重)
- 低コスト

### こんなところで使われています。

- ・擁壁などの構造物の基礎地盤の支持力確認
- ・建築物の基礎地盤の支持力確認
- ・地盤改良後の支持力確認



### 適用範囲

- ・確認支持力は、最大 4375kN/m<sup>2</sup> (設計荷重に安全率を 3 乗じたもの)
- ・本試験は、あくまで表層地盤の支持力を簡易に計測するためのものであり、より正確な支持力の計測が必要な場合や設計荷重の大きい大型構造物は、平板載荷試験 (JGS 1521 地盤の平板載荷試験方法) をおすすめします。
- ・粒度の大きい礫質土が混在する地盤では使用できません。